

-----7月20日-----

## 今週のアウトルック (7/20 ~ 7/24)

残念ながら、先週の動きは予想外だったとしか言いようがありません。

センチメントの悪化 NYダウ下落 サポートラインで下げ渋り  
短期投機筋の踏み上げ NYダウ大幅上昇 商品先物上昇  
リスク選考の動きからクロス円を中心に上昇

という春先から続いている短期投機筋の仕掛けパターンが復活しているように思います。

NYダウは先週5連騰で600ドル程度(7.3%)の上昇となりました。年初来高値の8800ドルに近いことから、今週、ここからの一段の上昇は難しいように思います。よって、リスク回避の動きが再開し、全般的には円高再開の動きを考えています。

ドル円は94.5円から95円あたりにあるレジスタンスを超えることができなければ、再び90円を目指す展開を考えています。米国の企業決算よりもCITの破綻懸念に左右されるのではないかと考えています。レンジとしては92円から95円あたりを予想しています。

ユーロドルが最近のボックス圏の上限(1.42)あたりに近づいていることから、再び1.385あたりを目指して下落する方向で考えています。NYダウや原油相場の影響を強く受ける状況は継続するとは思いますが、これ以上のリスク選考の動きへの傾斜は考えづらいように思います。ユーロ円では128円から135円あたりのレンジを予想しています。

ポンド円の動きは再び予測しづらい状況になっているように思います。基本的には155円あたりで押し戻される状況を想定していますが、BOEの政策によっては160円を目指す状況も否定できないように思います。150円を目指す下落、160円を目指す上昇、2つのシナリオを想定しています。

7月下旬から8月にかけて、継続的に円安が進むという状況は過去、あまり例を見ないです。ディーラーたちの夏休みを前にひと波乱あって8月入りという状況はありましたが、先週の円安進行の動きはそのひと波乱だった、と個人的には考えたいと思っています。

もし、ここから一段のNYダウ上昇、円安進行という状況になれば、ファンダメンタルズで市場の動きを考えることをやめて、過剰流動性だけに動かされる相場として、考える必要があるように思います。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。

